

## 第8 就労サポートセンターさつき

### 1 概況

当事業所の理念である「地域社会と協調し、創造力豊かなサービスをとおして、働く喜びを分かち合います」に基づき、就労支援に特化した事業所として、就労移行支援事業、就労継続支援A型事業、就労継続支援B型事業及び就労定着支援事業を実施し、利用者が地域において自立した生活を送るための支援や一般就労に必要なスキル習得への支援を行い利用者の確保に努力した。

生産活動は、農産・請負班、清掃・請負班及びリサイクル班の3班体制で実施した。農産・請負班の水稻事業では、播種から刈取作業まで順調に進捗し、収穫量は約45トン（約760俵）となり、昨年の39トン（約660俵）を上回った。このうち、主力品種である「まっしぐら」は、10a当たり（1000㎡・1反）9俵を収穫した。リサイクル班は、農産・請負班と連携して薪の生産に取り組んだ。清掃・請負班においても、事業所清掃終了後はほたて養殖用資材加工のほか薪生産に取り組んだ。

就労支援事業収入全体では、農産・請負班及びリサイクル班の収入増加が大きいが、A型利用者数の増加に見合う分の収入増に及ばず、利用者の工賃は増額することができなかった。

地域貢献等については、コロナ感染防止策のため近隣住民との交流活動イベントは実施することができなかったが、平内町の地場産業に貢献する作業を生産活動に組み入れ地域と一体となり事業を展開した。

契約者数に対する利用率は、就労移行支援事業において93%に達したものの、その他の事業利用者の利用日が低迷し、全体で86%となった。

### 2 重点事項の実施状況

#### (1) 利用者の獲得

##### ① 物販用ユニホームの着用

米販売用に女子が憧れるようなユニホームを作成したが、コロナ感染防止対策で物販が中止となったため、令和3年度に活用する。

##### ② 女子利用者獲得のための事業所視察

青森市内の同類同規模で女子利用者が多く在籍している事業所を視察し、女子利用者から直接希望をヒアリングする等した結果、女子利用者を獲得するための「空間」や「時間」として、月2回、「女子会」を実施した。令和3年度以降も継続実施し、将来的には生産活動につなげることを目標とする。

##### ③ Q&A形式パンフレットの作成

年度当初に作成し活用した。

#### (2) 支援スキルの向上

##### ① 法人内職員からの指導助言

専門的な支援を要する利用者をリストアップし、法人内職員より作業の様子を観察したうえで、適切な指導助言を仰ぎサービス提供に役立てた。

##### ② スキル向上のための事業所視察

工賃向上協議会のネットワークを活用し、精神障害の就労支援を得意とする事業所を視察し、精神障害を有する利用者の支援に役立てた。

#### (3) 生産活動用設備の増設

##### ① 米乾燥機の増設（建屋増築含む）

社会福祉法人清水基金からの助成により米乾燥機を増設（建屋増築含む）し、令和2年度産米の収穫時から活用した。乾燥機2台体制による収穫作業により、適期刈取を図ることができた。

② 米刈取用コンバインの購入

コンバインについては、日本郵便株式会社へ助成申請したが、採択されなかったため購入できなかった。しかし、丸紅基金に助成申請していた田植え機は採択されて購入できたため、令和3年度から田植え作業については作業期間の短縮を図ることができる見込みである。

③ 運搬車の購入

薪伐採現場が徐々に車両用道路から離れてきたが、運搬車の購入により斜面からトラックまで円滑に運搬できるようになった。

(4) 福祉サービス第三者評価結果に基づく改善

毎月開催した質の向上推進会議において、評価結果Bの25項目を毎月3項目ずつ検証し、令和2年度の自己評価ではほぼA評価となった。

### 3 職員の状況

職名	所長	副主任 支援員	支援員	事務員	調理員	労務員	運転員	合計
職員数	(1)	2	3	3	2	2	5	17

※所長は事務局長が兼務しているため、合計には含んでいない。

### 4 利用者の状況

(人)

区分	就労移行 支援事業	就労継続支援 B型事業	就労継続支援 A型事業	合計	就労定着 支援事業
定員	6	15	10	31	
年度当初 利用者数	8 (男7・女1)	14 (男10・女4)	7 (男6・女1)	29 (男23・女6)	3 (男3・女0)
年度末 利用者数	8 (男8・女0)	15 (男10・女5)	8 (男7・女1)	31 (男25・女6)	3 (男3・女0)

※平均年齢（令和2年度末）＝全体：36歳（男性：35歳・女性：39歳）

### 5 事業の実施状況

(1) 事業概要

① 就労移行支援事業

一般就労を希望する方に、職場実習や一定期間の就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行った。

期間	人数	実習場所
11月2日	2	(株) ヤマト運輸
11月17日	2	平内町立山村開発センター
12月8日	3	よごしやま温泉

② 就労継続支援A型事業

一般企業等での就労が困難な方に、雇用して就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練等を行った。

③ 就労継続支援B型事業

一般企業等での就労が困難な方に、就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練等を行った。

(2) 生産活動の売上状況 (円)

班名	令和2年度(A)	令和元年度(B)	前年比(A-B)
農産・請負班	10,892,928	9,175,154	1,717,774
清掃・請負班	753,600	753,600	0
リサイクル班	6,485,681	6,236,032	249,649
計	18,132,209	16,164,786	1,967,423

(3) 工賃及び賃金の支給状況

区分	就労移行支援		就労継続支援B型		就労継続支援A型	
	延人数 (人)	支給金額 (円)	延人数 (人)	支給金額 (円)	延人数 (人)	支給金額 (円)
年間合計	86	1,446,540	150	2,733,464	95	7,935,581
1人当たり 月平均額	7.2	16,820	12.5	18,223	7.9	83,532

(4) 就職に向けた取組

2月22日、イオンリテール(株)イオン青森見学及び3月22日企業見学会(オンライン)に参加した。

(5) 余暇支援等(行事関係)

月	レクリエーション(土日開所)	地域交流活動等
4月	◎茂浦地区清掃(18日)	
5月	◎春のバーベキュー(2日) ◎春の大掃除(9日) ◎夏泊半島ドライブツアー(16日) ◎各班作業(23日) ◎春のバーベキュー第2弾(30日)	◎だいすき海岸清掃奉仕(1日)
6月		
7月	◎夏のバーベキュー(11日) ◎地引網体験(18日)	◎夏泊ほたて海道トンネルマラソン施設開放(19日)
8月	◎夏のバーベキュー第2弾(1日) ◎茂浦地区清掃(8日) ◎夏の大掃除(22日) ◎夏のバーベキュー第3弾(29日)	◎だいすき海岸清掃奉仕(1日) ◎だいすき海岸夜間巡視(1日)
9月	◎秋のバーベキュー(5日) ◎サッカー観戦(27日)	
10月	◎室内サッカー体験(31日)	
11月	◎秋のバーベキュー第2弾(7日) ◎各班作業(14日)	◎だいすき海岸清掃奉仕(1日)
12月	◎お好み焼き調理体験(5日) ◎各班作業及び保護者懇談会(12日) ◎年末大掃除(19日)	
1月	◎バスケットボール体験(9日) ◎映画鑑賞(17日) ◎各班作業(23日) ◎焼きそば調理体験(30日)	◎茂浦青年団権現舞訪問(17日)
2月	◎ソフトバレー体験(6日)	

	◎映画鑑賞（13日）	
3月		

(6) 送迎体制

コース名	行き先
平内町（野辺地）	小湊、清水川、野辺地
平内町（小豆沢）	小湊、小豆沢、障害者総合福祉センターなつどまり
青森市内（東方面）	小柳、戸山、諏訪沢
青森市内（山通り）	観光通り、筒井、戸山
青森市内（浜通り）	青森駅、浪打、八重田

(7) ボランティアの受入

令和2年度は実績なし

(8) 苦情解決事業等

毎月1回、第三者委員（4人）と面談する機会を設けたほか、随時相談を受ける体制を整備した。なお、実施については虐待防止対応規程と連動し対応した。

区 分	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計（件）
受付件数	0	0	0	0	0
解決件数	0	0	0	0	0
繰越件数	0	0	0	0	0

(9) 健康管理

次亜塩素酸ナトリウム水溶液による施設内消毒を実施したほか、うがい薬によるうがいと手洗い及びアルコール消毒を利用者に励行し、また、感染症の流行期間においては、利用者に対して感染症の予防方法など説明するなどして注意を促し、感染の防止に努めた。

新型コロナウイルス蔓延防止対策として、厚生労働省の通知に基づき、毎朝自宅において検温し、発熱していないことを確認してから送迎車両に乗ることを徹底した。事業所では外部の訪問者は玄関までとし、事業所内はすべて職員が中継して対応した。

(10) 安全管理・防災対策

年2回（8月4日、1月27日）避難及び消火訓練を実施したほか、不審者対応訓練を実施し、利用者の安全確保に努めた。また、2月25日、災害備蓄食を利用者本人が実際に準備して喫食する訓練を実施した。

(11) 所内会議等

会議名	回 数
質の向上推進会議	毎月1回
給食会議	毎月1回
事業所会議	毎月1回

(12) 職員研修関係

事業所内での勉強会や法人内他部署での実地研修をはじめ、県内で実施する各種研修等に職員を派遣した。

また、支援技術や生産技術の向上を図るための専門的な研修へも積極的に派遣した。

(13) 広報関係

- ① パンフレット・事業概要作成配布
- ② 広報紙「でんでん」年3回発行配布
- ③ ホームページ開設

④ 見学者（養護学校教諭・生徒）の積極的な受入れ

(14) 放課後子ども教室（平内町からの受託事業）の運営状況

- ① 営 業 日 毎週月～金曜日
- ② 営 業 時 間 15:00～18:00（ただし、小学校長期休業期間は9:00～17:00）
- ③ 利 用 契 約 者 36人
- ④ 協働活動支援員 7人
- ⑤ 協働活動推進員 1人

【令和2年度の実績】

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数 (A)	21	18	21	21	16	18	19	17	20	17	15	23	226
	19	19	19	22	18	18	21	19	20	19	17	21	232
延利用者数 (B)	140	71	65	119	112	48	53	50	79	74	36	69	916
	177	132	122	227	197	82	101	86	130	107	53	158	1,572
1日当たりの 平均利用者数 (B÷A)	6.7	3.9	3.1	5.7	7.0	2.7	2.8	2.9	4.0	4.4	2.4	3.0	4.1
	9	7	6	10	11	5	5	5	7	6	3	8	7

※上段：当年度、下段：前年度